

征稿 难处

语言是表达一切事物的工具，又是双方交流不可缺少的桥梁。如果世界上没有语言那就会闭塞，什么交流、科学发展都是不可能的。

象我们这代人，连自己国家的语言都不会，和哑人一样。在我七岁时有说有笑(天真活泼)的，和幼年的朋友们一起唱歌一起学习。但是，由于战争，把我们这些人变成了孤儿变成了傻子、哑巴。幼小的心灵受到严重伤害。丢到语言不通的环境里强迫我说中国话，由于社会的种种原因，逐渐把自己的母语全部忘掉了。

在援护基金的关怀下，平成九年六月十二日，又回到了离别半个世纪的家。看到了一切的变化，在这变化了的环境中我见不到我的亲人，见到的只是亲人们的墓碑，陌生的一切。又使我受到身处异地的感觉。语言不通，怎么交流，怎么工作。这就是残留孤儿最悲惨的事。被别人嘲笑的这种心情是最难忍受的。



现在，我年已七十，我的工作是土木造园。白天劳动，每天晚间坚持学习，但是，由于年龄大了记忆力减退，记一个单词需要十几遍，我就是这样坚持学习的。在我的周围，学习和交流都很闭塞，没有归国者和其他的中国人，学习的资料是从所泽归国者研修中心带回来的。

我们从所泽中心来到定居地后，再就没有收到问候的电话。当第一次接到天天好日的小报和电话时，说一句真心话。心里感到特别的温暖，感到还有人在关心我们。因为我来到定居地就和保证人生活指导员没有往来(他们是夫妇)。我就象大海孤船，自己开拓着生存的路。因为我身体弱，我的肺切除一半呼吸量

投稿 「困難」

言葉はあらゆる事物を表現する手段であり人と交流するのに欠かせない懸橋です。もしも言葉が無かったら人との交流もできないし科学を発展させることもできません。

私たちのように母国語が話せないのは口がきけないと同じです。私が7歳の時は天真爛漫で友達と歌を歌ったり一緒に勉強したりしていました。しかし、戦争によつて私たち孤児は愚か者で口がきけない人となってしまいました。幼い頃たいへんな挫折を味わいました。言葉のわからない環境の中におかれ中國語だけを話さざるを得ない状況で徐々に母国語を忘れてしまいました。

援護基金の援助で平成9年6月12日に半世紀離れていた日本に帰って来ました。あらゆる変化を目の当たりにし、私は親族に会うこともできず、ただお墓を見ることしかできませんでした。また外国に来てしまったようでした。言葉がわからなければ交流もできず仕事もできません。これは残留孤児が直面する最も痛ましい事実です。人に笑われることは最も苦痛で絶えられません。

今年私は70歳になります。私は造園木の仕事をしています。昼間働き夜は毎日本語の勉強をしていますが歳のため単語ひとつ覚えるのに何度も勉強しなくてはなりません。私は一生懸命勉強しています。私の周りには一緒に日本語を勉強したり交流をしたりする残留孤児や中國人がいません。日本語学習の教材は中國帰国者定着促進センターで頂いたものを使っています。

定着促進センターを卒業してから一度

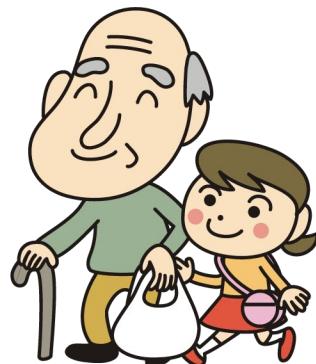


是正常人的一半，肋骨切掉了三根。我就这样一边工作一边学习直到现在。

尊敬的天天好日的编辑先生们，我在您的关怀下一定还要努力学习，自己要有坚强的意志，宁可站着死，决不跪着生。不能辜负您们对我的关怀，自己一定披荆斩棘开拓着余生的道路。

江碧鸟逾白，
山青花欲然。
今春看又过，
何日是归年。

(茨城县、石井和雄)



わたしも私たちの近況を聞いてくれる電話がなかったので初めて天々好日や友愛電話が来た時、心から感謝し、私たちのことを気にかけてくれる人がいるのだと思い嬉しかつたです。定住してからは保証人や生活指導員の方(彼らは夫婦)が私の様子を見に来なくなつたので、私は海に浮かぶ小舟のように自分で道を切り開いていくしかありませんでした。私は体が弱く、肺を半分切除したため肺活量が正常な人の半分しかありません。肋骨も3本切除しました。私はこのような状況下で仕事をしながら日本語の勉強をしています。

天々好日の編集担当のみなさん、私はみなさんの手厚い配慮のもと、さらに一生懸命勉強し、強い信念を持ち続け、膝を屈したまま生きるよりは、立ったまま死ぬ方を選んで、みなさんの好意を無にしないよう自分の力で茨の道を切り開いていこうと思っています。

江は碧にして鳥は逾よ白く
山は青くして花は然えんと欲す
今春看す又過ぐ
何れの日か是れ帰る年ぞ

(茨城県・石井和雄)